

令和5年12月6日

「メリット・デメリットの記載の見直し」についての回答票

1 見直しの観点

- (1) 主観的(?)と思われる表現を削除し、一般的な表現にする。
- (2) 見出し（ゴシック体）を削除することで、説明文章（明朝体）との重複や単純化された見出しから生まれる誤解をなくす。
- (3) 次の資料を参考に文章表現を見直す。
  - ・参考資料：文科省の手引き  
岐阜県山県市  
兵庫県明石市
  - ・参考資料を全面的に借用していますので、基本方針に掲載する場合は注意が必要です。（文章表現を見直してください）

# 1 学校規模による学校教育への影響

## (1) 小規模校の教育活動の特徴

	良さ（メリット）	課題（デメリット）
教育指導面	<p>①一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。</p> <p>②意見や感想を発表できる機会やリーダーを務める機会など、児童生徒一人一人の活動機会を設定しやすい。</p> <p>③運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える。教材・教具なども一人一人に行き渡らせやすい。</p> <p>④異年齢の学習活動を組みやすい。また、体験的な学習や校外学習を機動的に行いやすい。</p> <p>⑤地域の協力が得やすいため、地域の教育資源を活用した教育活動が展開しやすい。</p>	<p>①多様な意見に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなる場合がある。</p> <p>②班活動やグループ分けに制約が生じたり、協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じたりする。</p> <p>③体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。</p> <p>④習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい。</p> <p>⑤クラス替えが困難なことから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。また、男女比に偏りが生じやすい。</p> <p>⑥クラブ活動や部活動の種類が限定される。</p> <p>⑦教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる。また、生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受けることがある。</p>
学校運営面	<p>①全教職員の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。</p> <p>②校内の会議の開催数を減らしやすい。</p> <p>③全教職員で全児童生徒の指導・支援ができる。</p> <p>④施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。</p>	<p>①経験年数、専門性、男女比等のバランスのとれた教職員配置が行いにくい。</p> <p>②教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達がなされにくい。</p> <p>③一人の教職員が複数の校務分掌を担当するため負担が大きい。</p> <p>④学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難な場合がある。</p> <p>⑤複式学級の場合、学年差・能力差に応じた指導、個への配慮について難しさがある。</p> <p>⑥免許外指導の教科が生まれる可能性がある。</p>
その他	<p>①保護者や地域社会との連携が図りやすい。</p> <p>②災害発生等による緊急避難時に混雑が生じにくい。</p>	<p>①子ども一人あたりに係る経費が大きくなりやすい。（バス代、アルバム代等）</p> <p>②PTA活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。</p>

(2) 大規模校の教育活動の特徴

	良さ（メリット）	課題（デメリット）
教育指導面	<p>①児童生徒を多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力をさらに伸ばしやすい。</p> <p>②運動会などの学校行事や音楽活動等で活気のある集団教育活動を行うことができる。</p> <p>③学級の枠を超えた習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる。</p> <p>③クラス替えを契機として、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成を図ったり、児童生徒が意欲を新たにしたりすることができる。</p> <p>④学級同士が切磋琢磨してより良い集団を目指す、学級間の相互啓発を図ることができる。</p>	<p>①学校行事等において、係や役割分担のない子どもが現れる可能性があるなど、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある。</p> <p>②集団生活において同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくくなる場合がある。</p> <p>③同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化する場合がある。</p>
学校運営面	<p>①経験、教科、特性などの面で、バランスのとれた教職員配置を行いやすい。</p> <p>②学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いやすい。</p> <p>③校務分掌を組織的に行いやすい。</p> <p>④出張、研修等に参加しやすい。</p>	<p>①児童生徒一人あたりの校舎面積、運動場面積等が狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる場合がある。</p> <p>②特別教室や体育館、プールの等の利用に当たって授業の割当てや調整が難しくなる場合がある。</p> <p>③教職員相互の連絡調整が図りづらい。</p>
その他	<p>①子ども一人あたりに係る経費が小さくなる。（バス代、アルバム代等）</p> <p>②PTA 活動等において、役割分担により保護者の負担を分散しやすい。</p>	<p>①保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。</p> <p>②災害発生等による緊急避難時に混雑が生じやすい。</p>